



丸森町の生涯学習イベントに関する情報を定期的にお知らせします。
本紙に掲載のイベントは、町ホームページのほか「広報まるもりお知らせ版」等でお知らせしています。

6月-9月のイベント情報

令和8年度第1回丸森町文化財研修会

絵馬に込めた養蚕振興～福應寺毘沙門堂奉納の絵馬～

どなたでも

歴史・文化財

養蚕

ムカデ絵馬

角田市福應寺毘沙門堂には、全国的にも珍しいムカデ絵馬を含む23,477枚が奉納され、国の重要有形民俗文化財に指定されています。養蚕の繁栄を願い生まれた養蚕信仰とムカデの関係、丸森から奉納された絵馬などについて、角田市郷土資料館 齋藤 彰裕 氏に講話いただきます。

日時 令和8年7月4日(土) 14:15～ ※文化財友の会総会終了後の開催となります。

会場 丸森まちづくりセンター2階大集会室（宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120）

申込 6月30日(火)までに、まるもりふるさと館にご連絡ください。(参加無料)



詳細は町HPでも
ご覧いただけます

夏の浴衣着付け講座

親子歓迎

体験

夏祭りシーズン前に着付けを体験しませんか？
自分で着た浴衣で齋理幻夜を楽しみましょう！

▶日時：令和8年7月21日(火) 18:00～20:00

▶場所：館矢間まちづくりセンター和室

▶内容：浴衣の着方から帯結びまで講師が教えます。

▶対象：町内に在住または勤務している方

▶定員：10名程度(先着順) ▶費用：無料

▶浴衣・帯・紐(4本程度)・タオル(3本程度)

(浴衣をお持ちでない方はご相談ください)

▶申込：電話または右記二次元コードより



はつらつ学園(一般募集枠)

60歳以上

第2回講座 丸森の歴史と文化財

秘宝

高齢者教育として実施しているはつらつ学園。
まるもりふるさと館の「秘宝」に迫ります。

▶日時：令和8年7月14日(火) 14:00～15:30(予定)

▶場所：まるもりふるさと館2階研修室

▶持ち物：筆記用具 ▶費用：無料 ▶定員：15名程度

▶申込：電話または下記二次元コードより



←お申込みはコチラから

はつらつ学園の実施状況はコチラ→



はつらつ学園(一般募集枠)

60歳以上

第3回講座 震災遺構・中浜小学校

震災伝承

第3回は、“大人の遠足”。
災害の教訓・備えを震災伝承施設から学びます。

▶日時：令和8年9月15日(火) 14:00～16:30(予定)

▶集合：丸森町役場前駐車場

▶持ち物：筆記用具 ▶費用：無料 ▶定員：15名程度

▶申込：8月より受付開始

(詳細は町HPまたはお知らせ版をご覧ください)

各種お問い合わせ

生涯学習課/生涯学習班

TEL : 0224-72-3036(課・班共通)

mail : shogai_g@town.marumori.miyagi.jp(課)

gakushyu@town.marumori.miyagi.jp(班)

協働教育班

TEL : 0224-87-7245

mail : kyoudou@town.marumori.miyagi.jp

まるもりふるさと館

TEL : 0224-72-2631

mail : furusato@town.marumori.miyagi.jp

裏面

「丸森町教育委員会刊行物」
「丸森の里山めぐり」を掲載しています

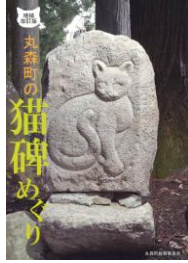
丸森町教育委員会刊行物

まるもりふるさと館では、丸森町の歴史資料をまとめた「丸森町文化財集」各種を販売中です。単なる記録集に留まらず、丸森の生きた歴史を紐解く貴重な刊行物を数多く取り揃えております。ここでは、売れ筋の商品や、文化財担当者イチオシの刊行物を紹介します。

丸森町の猫碑めぐり-増補改訂版-

売上No.1

日本一の猫碑の町として知られる丸森町は、80基以上の猫碑が確認されています。本書には、現在確認されているすべての猫碑が紹介されており、当時の養蚕業の発展を伺い知ることができます。

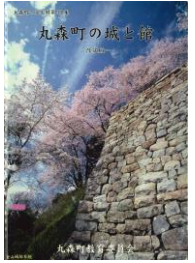


▶価格：800円 ▶総頁数：66頁

丸森町の城と館 -改訂版-

文化財担当イチオシ

伊達氏と相馬氏の境界の地であり、歴史に残る合戦の舞台となった丸森町は、今でも多くの城跡が残されています。争奪戦の舞台となった丸山城・金山城・小斎城の他、多くの城跡を紹介しています。

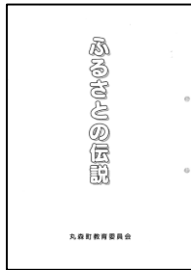


▶価格：1,000円 ▶総頁数：39頁

ふるさとの伝説

隠れた名作!

丸森の土地に伝わる数々の伝説が紹介されています。年中行事の由来や屋敷・寺社に関するものなど、80を超える伝説が地区ごとにまとめており、それぞれに特徴を見ることができます。地元を再発見できる一冊です。

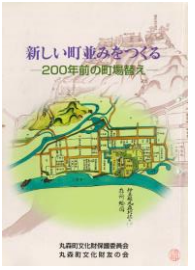


▶価格：1,000円 ▶総頁数：98頁

新しい町並みをつくる-200年前の町場替え-

文化財担当イチオシ

丸森は阿武隈川の恵みを受けて発展しましたが、多くの災害にも見舞われました。本書では江戸時代に災害を受け、町場を移転した際の記録が記されており、災害から逃れるための人々の困難を伺い知ることができます。



▶価格：500円 ▶総頁数：26頁

紹介した刊行物は、まるもりふるさと館で販売しております

丸森の里山めぐり① 岩岳

まるもり里山ウォーク拾遺

丸森町内には登山対象となる里山が複数あるが、岩岳はその中でも代表的な山である。標高は四三〇mほどだが、主峰に三角点はなく、厳密な標高は不明である。三ヶ所の登山口がある。

令和元年の東日本台風の影響で大きな影響を受け、三ヶ所ある登山口のすべてから登ることができなくなった。その後、周辺の道路が開通し始め、徐々に登山者も訪れるようになったが、長く続いた不通の影響で登山道は荒れ気味である。令和七年十二月に、ようやく林道鷲ノ平線の通行止めが解除され、第一、第二の登山口まで車でアクセスすることができるようになった。

第一登山口は、被災前の最もポピュラーな登山口で、広い駐車場や案内板、トイレなどが設置されていたが、トイレは現在も利用できなない。第二登山口は災害の影響が残りに、駐車スペースも少なくなり、第一登山口よりもアクセスが難しい。第三登山口は県道四十五号線沿いにあり、一番アプローチが楽であるが、駐車スペースは県道の路側に三台程ある程度なので注意したい。川の対岸に登山口の鳥居があり、内川を渡渉して取り付くことになる。平水ならば、土石止めの堰堤をそのまま渡ることができるが、増水時は渡れないこともある。

山頂までは第一登山口からが最も近く、三十分ほどで登れるが、何れのコースをたどっても一時間とかららない。稜線途中に山神を祀った石祠などがあり興味深い。山頂には羽山神社が祀られており、筆甫川下地区の住民の信仰を集めている。稜線の登山道はそのまま第一見晴台、第二見晴台まで続いているが、第二見晴台までは不明瞭で、展望も得られない。

岩岳周辺は県内随一のフリークライミングのグレードとして知られており、シーズンになると県内外からのクライマーで賑わう。踏み跡なども随所にあるので迷わないように注意したい。また、古くからの修験の霊場であることにも留意したい。



見晴岩からの眺望



山頂での集合写真



まるもり里山ウォークHPでも丸森の里山を紹介しています。

コースタイム：第3登山口から山頂まで45分。第1登山口から山頂まで25分。稜線歩きは約50分。
駐車スペース：第3登山口に約3台分、第1登山口には約20台分、第2登山口には1~2台。